

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名【新】河川ごみ実態調査費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 廃棄物対策課 資源循環推進係 電話番号：058-272-1111(内2962)

E-mail：c11225@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 11,387 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	11,387	5,693	0	0	0	0	0	0	5,694
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

・令和4年3月に策定した「清流の国ぎふ 海洋ごみ対策地域計画」(計画期間は9年間)を、令和7年度に中間見直しするのに先立ち、県内の河川における散乱ごみの分布や組成のデータの調査を行う。本データに基づいて重点区域の見直しや発生抑制対策を設定する必要があり、県内全域で調査を行う。令和2年度の前回調査結果と比較するために、前回と同様の地点で調査を実施する。

(2) 事業内容

○調査対象河川

令和2年度に実施した木曾川水系(長良川下流、長良川上流、水門川、板取川、天王川)、庄内川水系(土岐川及び支流)、神通川水系(宮川・高原川及び各支流)82箇所を調査対象とする。

○調査方法

ア 河川ごみ実態調査(概況調査)

令和2年度に調査した82地点を令和2年度と同様の方法であるごみ袋カウント法又は目視チェック法で河川ごみの分布量調査及び組成調査を実施し、前回調査と比較分析する。

イ 発生抑制対策基礎調査

河川と密接に関わっている各団体に対して、各活動内容や河川ごみに関するヒアリング調査を行い、河川ごみに対する具体的な対策案を検討する。

(3) 県負担・補助率の考え方

地域環境保全対策費補助金（海岸漂着物等地域対策推進事業）を活用する。
（国庫補助率 1 / 2）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費		
旅費		
需用費		
役務費		
委託料	11,387	河川ごみ実態調査の委託
工事請負費		
補助金		
その他		
合計	11,387	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

海岸漂着物対策地域計画は、海岸漂着物処理推進法第 14 条に基づく法定計画

(2) 国・他県の状況

三重県：計画策定前、H21年～H22年度に河川ごみ調査を実施。また、散乱ごみの分布状況を調査するため R 5 年、R 6 年度に業者委託して実施。

山梨県：計画策定前、R 元年度に実施。以降毎年度河川ごみ調査、マイクロプラスチック調査を実施。

群馬県：計画策定時、R 3 年度に実施。以降毎年度河川ごみ調査、マイクロプラスチック調査を実施

(3) 後年度の財政負担

次期計画となる第 2 次海洋ごみ対策地域計画策定（令和 12 年度）の前年度にあたる令和 11 年度に次回調査を実施する予定

令和 5 年度中に策定予定の「伊勢湾流域圏海洋ごみ対策推進広域計画」において、各県で実施している実態把握調査の、調査手法、集計・表示方法を統一化し、三県で調査結果を比較できるようにすることとしている。詳しい調査手法等については、来年度検討することとしている。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和4年3月に策定した「清流の国ぎふ 海洋ごみ対策地域計画」（計画期間は9年間）を、令和7年度に中間見直しするのに先立ち、県内の河川における散乱ごみの分布等の調査を行う。本データに基づいて重点区域の見直しや発生抑制対策を設定する必要があり、県内全域の調査が必要である。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

調査を実施し、完了することが目的であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 3	本事業は、令和7年度に中間見直しを実施するがそれに先立ち、県内の河川における散乱ごみの分布等の調査を行う。本データに基づいて重点区域の見直しや発生抑制対策を設定する必要がある。
・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	調査を実施し、完了することが目的であるため指標はなし
・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 県内の河川における散乱ごみの分布等の調査を行う。本データに基づいて重点区域の見直しや発生抑制対策を設定する必要がある。
--

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 調査した散乱ごみの分布等に基づいて、令和7年度に地域計画の見直しを行う。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	